

支援学校名	郡上市立北濃小学校	担当教員名	和田先生	対象学年・人数	6年生 14名
実施日	11月16日(水)		実施場所	長良川(郡上市白鳥町)	
テーマ	災害の危険性と復旧の必要性について		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関	株式会社 北栄建設	
学習内容①：過去の災害事例を学ぶ 写真を使用して、自分の家のそばで過去の災害でどのような災害があったかを学習した。また、実際に使用する根固めブロックを見てその大きさを体感した。			学習内容②：災害のメカニズムを学ぶ 災害現場に行き、洪水の影響でどのように施設が被災したかを学習した。		
					
学習内容③：復旧の工法について 復旧工法の選定理由やどのような構造物ができるかを学習した。			学習内容④：工事の環境への配慮について 環境に悪影響を与えないために、どのように工事を進めていくかを学習した。また、工事についての質問や話し合いを行った。		
					
【学習結果と考察】 <ul style="list-style-type: none"> <li>学校の身近にある川や自分の家の周囲でも災害が起きていることを再確認できた。</li> <li>洪水時の写真により災害の怖さを実感できた</li> <li>工事の施工方法や被災のメカニズムを学習して、周囲の住民や環境に配慮しながら工事を進めていることを知ることができた。</li> <li>土木事業により自分たちの暮らしが守られていることを理解できた。</li> </ul>			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な地域での災害事例を使って児童に説明することで、災害の怖さを理解してもらうことができた</li> <li>環境に配慮した工法や災害のメカニズムを説明することによって、災害復旧事業の必要性を理解してもらうことができた。</li> <li>子供達に説明することによって、地域住民との協働して事業を進めていくことの必要性を理解することができた。</li> </ul>		
備考	11月17日(木)中日新聞(中濃版)に総合学習の記事が掲載される【巻末資料67頁掲載】 11月25日(金)建通新聞に総合学習の記事が掲載される【巻末資料67頁掲載】				
記入者	所属：砂防担当	氏名：荒引 圭俊	電話番号(内線)	341	

支援学校名	可児市立広見小学校	担当教員名	井戸先生	対象学年・人数	4年生 118名
実施日	7月12日(火)		実施場所	可児川(広見地区)	
テーマ	「2010年7月15日におきた 可児川の災害について」		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関	可児市防災安全課	
学習内容①： H22年度に洪水被害を受けた地区の小学校において防災学習を行い、当時の状況の説明や、今後の災害への備え等について講義した。			学習内容②： プロジェクタを利用し計32枚のスライドにより講義した。当時の写真や図面を多用し、児童が理解しやすいよう配慮した。		
					
学習内容③：児童からの体験談などの発表 自分自身や家族の体験談や、そこから学んだなどを自発的に発表してもらい、より身近でリアルな事例を共有することができた。			学習内容④：可児市のハザードマップの紹介 可児市が作成している地区別のハザードマップについて紹介し、各家庭でも活用してもらうよう呼びかけた。		
					
【学習結果と考察】 <ul style="list-style-type: none"> <li>当時の写真や記事を用いて「何が起きたのか」「なぜ起きたのか」などの理解を進められた。</li> <li>災害時の情報収集や避難方法について説明でき、児童の防災意識が高められた。</li> <li>児童が自らの体験を語ることで、自身の行動や意識を再認識し今後活かす →講義での説明と、自身の体験の振り返り、級友の発表という3つの要素により、効果的に災害や防災のことを学習できたように思われる。</li> </ul>			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 <ul style="list-style-type: none"> <li>児童も集中して聴講しており、一定の浸透を図れたように思われる。</li> <li>体験談などでは自発的・積極的な発言が多く、関心の高さと当時の衝撃の大きさが伺われた。</li> <li>教諭からも高い評価が得られた。</li> <li>今後、大きな被害を受けた地区の小学校において慣例的に実施するようにしたい。</li> </ul>		
備考	7月12日(火) NHKニュースにて学習の様子が報道された 7月13日(火) 中日新聞(可児版)他に記事が掲載された【巻末資料68頁掲載】				
記入者	所属：河川砂防担当	氏名：加藤 一郎	電話番号(内線)	324	

支援学校名	七宗町立神淵小学校	担当教員名	後藤先生	対象学年・人数	4年生 18名
実施日	6月28日(火)・29日(水)		実施場所	神淵川(神淵小学校前)	
テーマ	「川をきれいに」 川にすむ生物や水質などを調べて、今の神淵川のすがたを知ってもらう。		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関	七宗町農林建設課	
学習内容①：川について学ぶ プロジェクタを用いて計16枚のスライドにより、川にすむ生物のこと、水質と生物の関係などを講義した。			学習内容②：水質を調べる CODパックテストを行い、木曾川の水やお茶などと比較しながら神淵川の水質を調べた。		
					
学習内容③：カワゲラウォッチング 実際に学校の近くの川に入って生物を採取し、どんなところにどのような生物が棲んでいるのかを学んだ。			学習内容④：カワゲラウォッチング 採取した生物の同定や分類・集計を行い、生物に対する理解を深めた。		
					
【学習結果と考察】 <ul style="list-style-type: none"> <li>水質は木曾川と比べると良好であったが、予想よりは悪かった。これは雑排水等の影響と推察される。</li> <li>ごくわずかの汚れであっても、水質には大きく影響することが実験を通じて児童にも伝わったと思う。</li> <li>生物調査では様々な生物を採取でき、種類の多さ等については児童にもインパクトを与えられた。</li> </ul>			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 <ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちが身近に親しんでいる川であっても、予習をして生物を捕まえるという体験は児童にとっても新鮮だったようで、授業の有意義さを感じられた。</li> <li>慣れ親しんだ川でも、視点を変えればまだまだ奥深く興味を引くものだと伝えられたことを嬉しく思う。</li> </ul>		
備考	7月2日(土)岐阜新聞(中濃版)にて記事が掲載された。【巻末資料69頁掲載】				
記入者	所属：河川砂防担当	氏名：加藤 一郎	電話番号(内線)	324	

支援学校名	瑞浪市立瑞浪小学校	担当教員名	永井先生	対象学年・人数	5年生 163名
実施日	7月6日(水)		実施場所	万尺川(瑞浪中央公園付近)	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 万尺川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	
学習内容①：万尺川とのふれあい方を学ぶ 川に実際に入って、水生生物の採取を行うことで、川での歩き方を身につけるとともに、どんな場所に生物が生息しているかを体感した。			学習内容②：万尺川の生態を学ぶ 採取した水生生物を種類ごと分け、様々な生物の名称を知るとともに、身近な川に、どんな生き物がどれくらい生息しているかを学んだ。		
					
学習内容③：万尺川の水質を知る 川で採水した水のpH、透視度、CODを調べ結果発表した。水質の結果と、生息していた水生生物の種類との両方から、川がどの程度きれいなのか考えた。			学習内容④：川の危険性について まとまった雨が降ると川は恐ろしい場所にもなるということ、護岸の必要性などについて学んだ。		
					
【学習結果】 ・ pH 7.5 ・ 透視度 29 ・ COD 13 ・ 採取した水生生物 15種 オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、ヌマムツ、ドジョウ、ギンブナ、メダカ、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、カワニナ、マシジミ、コオニヤンマ、ハグロトンボ、ウシガエル、キンギョ			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 ・ 子ども達は川の中で生き生きとしていた。 ・ 子ども達が安全に活動できるよう、深みや流れの速いところに入らないように気を配った。 ・ 川の施設や川の災害を伝えるために紙芝居を用いたが、わかりやすい言葉で伝えるということに苦労した。 ・ 子ども達に、どういった所に生物がいるのか。他の川と比べてどのくらいきれいなのか。ということを学んでもらい、川に対する好奇心を抱いてもらえたと思う。		
備考	7月7日(木)中日新聞(東濃地域版)にて記事が掲載された。【巻末資料 69 頁掲載】				
記入者	所属：河川砂防担当	氏名：伊藤 昌志	電話番号(内線)	320	

支援学校名	瑞浪市立土岐小学校	担当教員名	大野先生	対象学年・人数	5年生 95名
実施日	9月13日(火)		実施場所	土岐川(水辺の楽校付近)	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 土岐川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	
学習内容①：土岐川とのふれあい方を学ぶ			学習内容：		
川に実際に入って、水生生物の採取を行うことで、川での歩き方を身につけるとともに、どんな場所に生物が生息しているかを体感した。					
					
学習内容②：土岐川の生態を学ぶ			学習内容③：川の危険性について		
採取した水生生物を種類ごと分け、様々な生物の名称を知るとともに、身近な川に、どんな生き物がどれくらい生息しているかを学んだ。			まとまった雨が降ると川は恐ろしい場所にもなるということ、護岸の必要性などについて学んだ。		
					
【学習結果】			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ pH 7.0</li> <li>・ COD 7</li> <li>・ 採取した水生生物 13種 オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、カマツカ、ニゴイ、タモロコ、モツゴ、ヤリタナゴ、アカザ、シマドジョウ、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、コオニヤンマ</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子ども達は川の中で生き生きとしていた。</li> <li>・ 子ども達が安全に活動できるよう、深みや流れの速いところに入らないように気を配った。</li> <li>・ 川の施設や川の災害を伝えるために紙芝居を用いたが、わかりやすい言葉で伝えるということに苦勞した。</li> <li>・ 子ども達に、どういった所に生物がいるのか。他の川と比べてどのくらいきれいなのか。ということを学んでもらい、川に対する好奇心を抱いてもらえたと思う。</li> </ul>		
備考					
記入者	所属：河川砂防担当	氏名：伊藤 昌志	電話番号(内線)	319	

支援学校名	瑞浪市立釜戸小学校	担当教員名	伊藤先生	対象学年・人数	5年生 27名
実施日	6月14日(火)		実施場所	土岐川(駅前大橋上下流)	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 土岐川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	
学習内容①：土岐川とのふれあい方を学ぶ			学習内容：		
実際に川に入って生物を採取することにより、生物の生息しやすい場所などを体感するとともに、川での歩き方、川の危険な箇所なども学んだ。			川では、浅いところを歩くんだよ。早瀬は気をつけて！		
					
学習内容②：土岐川の水質を知る			学習内容③：川の危険性について		
川で採水した水のpH、透視度、CODを調べ結果発表した。水質の結果と、生息していた水生生物の種類との両方から、川がどの程度きれいなのか考えた。			ゲリラ豪雨などでは、川の水位は急激に上昇すること、またコンクリート性の護岸も洪水で壊れてしまうことを実際の被災写真から学んだ。		
					
【学習結果】			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ pH 7.0</li> <li>・ 透視度 56</li> <li>・ COD 5</li> <li>・ 採取した水生生物 10種 オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、ドジョウ、アジメドジョウ、ミナミヌマエビ、カワナナ、マシジミ、コオニヤンマ、ヒラタドロムシ</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 川の中で積極的に生物を採取しようとする姿勢が印象的であった。</li> <li>・ 子ども達が安全に活動できるよう、深みや流れの速いところに入らないように気を配った。</li> <li>・ 子ども達に、どういった所に生物がいるのか。他の川と比べてどのくらいきれいなのか。ということも学んでもらい、川に対する好奇心を抱いてもらえたと思う。</li> <li>・ 川の工事の必要性についても学んでもらえたようだ。</li> </ul>		
備 考					
記入者	所属：河川砂防担当	氏名：水野 貴仁	電話番号(内線)	319	

支援学校名	多治見市立根本小学校	担当教員名	加藤先生	対象学年・人数	4年生 111名
実施日	5月18日(水)		実施場所	大原川(新高根橋上流)	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 大原川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	
学習内容①：大原川とのふれあい方を学ぶ 川に実際に入って、水生生物の採取を行うことで、川での歩き方を身につけるとともに、どんな場所に生物が生息しているかを体感した。			学習内容②：大原川の生態を学ぶ 採取した水生生物を種類ごと分け、様々な生物の名称を知るとともに、身近な川に、どんな生き物がどれくらい生息しているかを学んだ。		
					
学習内容③：大原川の水質を知る 川で採水した水のpH、透視度、CODを調べ結果発表した。水質の結果と、生息していた水生生物の種類との両方から、川がどの程度きれいなのかを考えた。			学習内容④：川の危険性について まとまった雨が降ると川は恐ろしい場所にもなるということ、護岸の必要性などについて学んだ。		
					
【学習結果】 ・ pH 7.0 ・ 透視度 70 ・ COD 8.0 ・ 採取した水生生物 12種 オイカワ、カワムツ、ヌマムツ、カワヨシノボリ、ドジョウ、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、トノサマガエル、ギンヤンマ、オニヤンマ、カワニナ、イシガメ			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 ・ 子ども達は川の中で生き生きしていた。 ・ 子ども達が安全に活動できるよう、深みや流れの速いところに入らないように誘導した。 ・ 子ども達に、どういった所に生物がいるのか。他の川と比べてどのくらいきれいなのか。ということを学んでもらい、川に対する好奇心を抱いてもらえたと思う。		
備考					
記入者	所属：河川砂防担当	氏名：伊藤 昌志	電話番号(内線)	319	

支援学校名	多治見市立池田小学校	担当教員名	喜多先生	対象学年・人数	4年生 46名	
実施日	5月20日(金)		実施場所	大原川(宝町親水公園)		
テーマ	「河川環境を学ぶ」 大原川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・防災		
			連携機関	多治見市土岐川観察館		
学習内容①：大原川とのふれあい方を学ぶ 川に実際に入って、水生生物の採取を行うことで、川での歩き方を身につけるとともに、どんな場所に生物が生息しているかを体感した。			学習内容②：大原川の生態を学ぶ 採取した水生生物を種類ごと分け、様々な生物の名称を知るとともに、身近な川に、どんな生き物がどれくらい生息しているかを学んだ。			
						
学習内容③：大原川の水質を知る 川で採水した水のpH、透視度、CODを調べ結果発表した。水質の結果と、生息していた水生生物の種類との両方から、川がどの程度きれいなのか考えた。			学習内容④：川の危険性について まとまった雨が降ると川は恐ろしい場所にもなるということ、護岸の必要性などについて学んだ。			
						
<b>【学習結果】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ pH 8.5</li> <li>・ 透視度 100</li> <li>・ COD 8</li> <li>・ 採取した水生生物 6種 オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、ドジョウ、アブラハヤ、アメリカザリガニ</li> </ul>			<b>【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子ども達は川の中で生き生きしていた。</li> <li>・ 子ども達が安全に活動できるよう、深みや流れの速いところに入らないように気を配った。</li> <li>・ 川の施設や川の災害を伝えるために紙芝居を用いたが、わかりやすい言葉で伝えるということに苦勞した。</li> <li>・ 子ども達に、どういった所に生物がいるのか。他の川と比べてどのくらいきれいなのか。ということを学んでもらい、川に対する好奇心を抱いてもらえたと思う。</li> </ul>			
備 考						
記入者	所属：河川砂防担当	氏名：中島 紀代	電話番号(内線)	320		



支援学校名	多治見市立市之倉小学校	担当教員名	小池先生	対象学年・人数	4年生 63名	
実施日	6月14日(火)		実施場所	市之倉川(市之倉小学校付近)		
テーマ	「河川環境を学ぶ」 市之倉川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 防災		
			連携機関	多治見市土岐川観察館		
学習内容①：市之倉川とのふれあい方を学ぶ 水生生物はどこなところに生息しているのか、また、川の水質や形状、危険な箇所はどこなのか、実際に自らが体験することで学ぶ。			学習内容②：川の危険性について 近年、局地的かつ短時間に大量の雨が降る、いわゆるゲリラ豪雨が多発する傾向にあり、どんな川でも天候には十分注意する必要があることを学んだ。			
						
学習内容③：市之倉川の生態を学ぶ 採取した水生生物を種類ごとに分け、様々な生物の名称を知るとともに、身近な川に、どんな生き物がどれくらい生息しているかを学んだ。			学習内容④：市之倉川の水質を知る 川で採水した水のpH、透視度、CODを調べ結果発表した。水質の結果と、生息していた水生生物の種類との両方から、川がどの程度きれいなのか考えた。			
						
【学習結果】 ・ pH 7.3 ・ 透視度 16 ・ COD 8 ・ 採取した水生生物 10種 オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、モクズガニ、コオニヤンマ、コヤマトンボ、ハグロトンボ、ヘビトンボ			【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】 ・ 流速が早い箇所があり、子ども達が足をすくわれて転倒しないように気を配った。 ・ 自然環境を守ることも大切だが、同様に生命と財産を守る河川事業や砂防事業も重要であるということを災害により被災した施設の写真を用いて訴えたが、わかりやすい言葉で伝えるということに苦労した。 ・ 子どもたちは嬉々として総合学習に取り組んでおり、川に対する好奇心を抱いてもらえたと思う。			
備考						
記入者	所属：河川砂防担当	氏名：山野 晃裕	電話番号(内線)	319		

支援学校名	多治見市立精華小学校	担当教員名	仙石先生	対象学年・人数	5年生 133名
実施日	5月25日(水)		実施場所	大原川(団子橋周辺)	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 大原川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	
学習内容①：大原川とのふれあい方を学ぶ 実際に川に入って、水生生物の採取を行うことで、川での歩き方を身につけるとともに、生物が生息しやすい場所を学んだ。			学習内容②：大原川の生態を学ぶ 採取した水生生物を種類ごと分け、生物の種類、名称、生息数などを写真なども交えて学んだ。		
					
学習内容③：大原川の水質を知る 川で採水した水のpH、透視度、CODを調べ結果発表した。水質の結果と、生息していた水生生物の種類との両方から、川がどの程度きれいなのか考えた。			学習内容④：川の危険性について ゲリラ豪雨時には水位の急上昇の恐怖、護岸の必要性、川で遊ぶ時の注意点を学んだ。		
					
<b>【学習結果】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ pH 6.5</li> <li>・ 透視度 76</li> <li>・ COD 8</li> <li>・ 採取した水生生物 14種 オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、ドジョウ、モツゴ、アカザ、メダカ、ブルーギル、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、スジエビ、サワガニ、コヤマトンボ、コオニヤンマ</li> </ul>			<b>【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子ども達は川の中で生き生きとしていた。</li> <li>・ 積極的に生物を採取しようとする姿勢が印象的であった。</li> <li>・ 生物について興味のある子が多かった。</li> <li>・ 河川の工事の必要性や、河川に潜む危険性についても学んでもらえたようだ。</li> </ul>		
備 考					
記入者	所属：河川砂防担当		氏名：水野 貴仁	電話番号(内線)	319



支援学校名	多治見市立南姫小学校	担当教員名	平野先生	対象学年・人数	4年生 58名
実施日	5月27日(金)		実施場所	姫川(安楽寺周辺)	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 姫川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	
学習内容①：姫川とのふれあい方を学ぶ 実際に川に入って、水生生物の採取を行うことで、川での歩き方を身につけるとともに、どんな場所に生物が生息しているかを学んだ。			学習内容②：姫川の生態を学ぶ 採取した水生生物を種類ごと分け、様々な生物の名称を知るとともに、身近な川に、どんな生き物がどれくらい生息しているかを学んだ。		
					
学習内容③：姫川の水質を知る 川で採水した水のpH、透視度、CODを調べ結果発表した。水質の結果と、生息していた水生生物の種類との両方から、川がどの程度きれいなのか考えた。			学習内容④：川の危険性について まとまった雨が降ると川は恐ろしい場所にもなるということ、護岸の必要性などを実際の災害写真を題材にして学んだ。		
					
			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 ・子ども達は護床ブロックの上を恐る恐る歩いていたが、徐々に慣れた。 ・護床があるから何も生息していないようだが、ガサガサをすると見つかるので良かった。		
備考					
記入者	所属：河川砂防担当	氏名：水野 貴仁	電話番号(内線)	319	

支援学校名	多治見市立昭和小学校	担当教員名	戸倉先生	対象学年・人数	3年生 45名
実施日	6月7日(火)		実施場所	笠原川(土岐川合流点)	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 笠原川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関	国土交通省庄内川河川事務所土岐川出張所 多治見市土岐川観察館	
学習内容①：笠原川とのふれあい方を学ぶ 水生生物はどんなところに生息しているのか、また、川の水質や形状、危険な箇所はどこなのか、実際に自らが体験することで学ぶ。			学習内容②：笠原川の生態を学ぶ 採取した水生生物を種類ごとに分け、様々な生物の名称を知るとともに、身近な川に、どんな生き物がどれくらい生息しているかを学んだ。		
					
学習内容③：笠原川の水質を知る 川で採水した水のpH、透視度、CODを調べ結果発表した。水質の結果と、生息していた水生生物の種類との両方から、川がどの程度きれいなのか考えた。			学習内容④：川の危険性について 近年、局地的かつ短時間に大量の雨が降る、いわゆるゲリラ豪雨が多発する傾向にあり、どんな川でも天候には十分注意する必要があることを学んだ。		
					
<b>【学習結果】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ pH 6.8</li> <li>・ 透視度 70</li> <li>・ COD 7</li> <li>・ 採取した水生生物 12種 オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、ナマズ、メダカ、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、ウシガエル、オナガサナエ、ハグロトンボ、ギンヤンマ、マジジミ</li> </ul>			<b>【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子供たちから、次々と質問が寄せられた。自ら川に入って五感で川を体験することで川に対する興味を持ってもらえることがわかった。</li> </ul>		
備考					
記入者	所属：河川砂防担当	氏名：山野 晃裕	電話番号(内線)	320	

支援学校名	多治見市立共栄小学校	担当教員名	武藤先生	対象学年・人数	4年生 66名
実施日	6月10日(金)		実施場所	高田川(共栄調理場上流)	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 高田川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	
学習内容①：高田川とのふれあい方を学ぶ 実際に川に入って生物の採取方法、川での歩き方、深みやよどみがどうなっているのかを、体感した。			学習内容②：高田川の生態を学ぶ 採取した水生生物を種類ごと分け、生物の名称、特徴、生息数などを個体写真を見ながら、学んだ。		
					
学習内容③：川の危険性について ゲリラ豪雨によって、川の水位が急上昇すること、川での遊びには十分注意すること、また、護岸の被災写真を交えながら、川の工事の必要性を学んだ。			学習内容④：		
					
【学習結果】 ・pH 7.0 ・透視度 50 ・COD 6.5 ・採取した水生生物 9種 オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、サワガニ、コオニヤンマ、コヤマトンボ、ハグロトンボ			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 ・川の中で積極的に生物を採取しようとする姿勢が印象的であった。 ・生物の名称や、特徴など興味津津に聞いていた。 ・川の工事の必要性についても、良く学んでもらったようだ。		
備 考					
記入者	所属：河川砂防担当	氏名：水野 貴仁	電話番号(内線)	319	

支援学校名	多治見市立滝呂小学校	担当教員名	早川先生	対象学年・人数	5年生 113名
実施日	6月29日(水)		実施場所	笠原川(滝呂橋上流)	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 笠原川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	
学習内容①：笠原川とのふれあい方を学ぶ 川に実際に入って、水生生物の採取を行うことで、川での歩き方を身につけるとともに、どんな場所に生物が生息しているかを体感した。			学習内容②：笠原川の生態を学ぶ 採取した水生生物を種類ごと分け、様々な生物の名称を知るとともに、身近な川に、どんな生き物がどれくらい生息しているかを学んだ。		
					
学習内容③：笠原川の水質を知る 川で採水した水のpH、透視度、CODを調べ結果発表した。水質の結果と、生息していた水生生物の種類との両方から、川がどの程度きれいなのか考えた。			学習内容④：川の危険性について まとまった雨が降ると川は恐ろしい場所にもなるということ、護岸の必要性などについて学んだ。		
					
<b>【学習結果】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ pH 7.3</li> <li>・ 透視度 63</li> <li>・ COD 13</li> <li>・ 採取した水生生物 8種 オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、ドジョウ、モツゴ、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、スジエビ</li> </ul>			<b>【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子ども達は川の中で生き生きとしていた。</li> <li>・ 非常に暑い日だったので、熱中症に気を付けた。</li> <li>・ 川の施設や川の災害を伝えるために紙芝居を用いたが、わかりやすい言葉で伝えるということに苦労した。</li> <li>・ 子ども達に、どういった所に生物がいるのか。他の川と比べてどのくらいきれいなのか。ということを学んでもらい、川に対する好奇心を抱いてもらえたと思う。</li> </ul>		
備 考					
記入者	所属：河川砂防担当	氏名：中島 紀代	電話番号(内線)	320	

支援学校名	恵那市立岩邑小学校	担当教員名	国枝先生	対象学年・人数	4年生 50名
実施日	6月16日(木)・23日(木)		実施場所	岩村川(矢坪橋上流)	
テーマ	「ダム、災害及び河川環境を学ぶ」 ダムの役割及び岩村川の過去の災害状況や現在の河川環境を学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関		
学習内容①：岩村ダムについての役割を学ぶ 岩村ダムについて説明し、実際にダムの堤体や監査廊を歩いてもらいダムの役割について学んだ。			学習内容②：川の恐ろしさを学ぶ 平成12年に起きた恵南豪雨災害において、岩村川の被災状況を写真で示し、当時の状況等についての説明を行い、川の恐ろしさについて知ってもらった		
					
学習内容③：岩村川の生態を学ぶ 実際に川に入って、岩村川の水生生物をグループに分かれて採取を行った。様々な生物の名称を学ぶとともに、どんな生物がどのくらい生息しているかを学び、身近な岩村川の生態について学んだ。			学習内容④：岩村川の水質を知る 採取した水生生物のグループ分けを行い、その生物の数から生息環境を推測し、そこから岩村川の水質がどうだったかについて取りまとめ発表してもらった。		
					
<b>【学習結果と考察】</b> ・少し汚い水に生息するカワニナ、コオニヤンマなどの数が多くみられた。しかし、きれいな水に生息するサワガニ・ヤマトビケラなども採取ができた。 以上のことから、岩村川の水質は少したない水であることがわかった。しかし、きれいな水に住むサワガニ等も生息していたことから、少したない水の中でも水質が良いことが考えられる。			<b>【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】</b> ・平成12年の恵南豪雨災害で、被災した岩村川と復旧後の岩村川の写真を並べて川の恐ろしさを学んでもらった。また、復旧後と現在の岩村川の状況を子供達自身の目で確かめてもらい川へ興味をもってもらえた。 ・身近な河川の水質環境を調査したことで、川への興味や関心が高くなったと思う。「たくさん生物が生息できるように川へごみを捨てない」と河川環境の改善も提言してくれた生徒もいた。 ・今後は、川に対する危険意識を今以上にもってもらい、水難事故防止に繋がられるようにしていきたい。		
備考					
記入者	所属：河川砂防担当	氏名：川出 真嗣	電話番号(内線)	346	

支援学校名	恵那市立中野方小学校	担当教員名	平井先生	対象学年・人数	4年生 13名
実施日	6月2日(木)		実施場所	中野方川(中野方ダム)	
テーマ	「ダムの役割を学ぶ」 中野方ダムの役割である治水・利水・維持流量の確保について学ぶ		分類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 防災	
			連携機関		
学習内容①：中野方ダムについて知る 中野方ダムのパンフレットを配り、中野方ダムの役割についてイラストと併せて説明を行いダムについての理解を深めた。管理棟にも入り、システムについても説明を行った。			学習内容②：ダムを“体感”する ダムの堤体やいくつか施設見学を通して、ダムにおける施設ごとの役割について学んでもらった。また、近くで見学してもらうことでダムの規模を体感することができた。		
					
学習内容③：管理について学ぶ ダムの堤体内部にある監査廊を歩いてもらい、ダム内部の施設の役割について説明した。内部からの管理をすることでダムの異常をいち早く知ることができることなど生徒に説明等を行い、子供たちもダム内部施設に興味を示していた。					
					
【学習結果と考察】 <ul style="list-style-type: none"> <li>パンフレットのイラスト通じて、中野方ダム全体の各施設の役割を学んだ</li> <li>ダム堤体を歩き、ダムの規模を体感した</li> <li>各施設や器具を見学し、それぞれの役割について学んだ</li> <li>管理方法を学ぶことで、ダムについての安全性などに対する疑問点を解決することができた</li> </ul> 以上のことから、中野方ダムの役割である治水・利水・維持流量の確保について学ぶことができた			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 <ul style="list-style-type: none"> <li>「子供達の飲み水がどのように自宅まで辿り着くのか」というテーマを学校で設けており、ダム見学から浄水場施設見学を通して子供達に学んでもらう行程を学校側で組んでもらえたので、ダムの役割もよく理解してもらえた。</li> <li>特に、普段見ることのないダム内部の監査廊を見学したときは、子供達が驚いていた。</li> <li>今後は子どもたちにもわかるような具体的なダムの防災効果について、説明できると良いと思った。</li> </ul>		
備 考					
記入者	所属：河川砂防担当	氏名：川出 真嗣	電話番号(内線)	346	



支援学校名	下呂市立金山小学校	担当教員名	中島先生	対象学年・人数	3年生 13名
実施日	7月11日(月)		実施場所	馬瀬・飛騨川(金山橋上流)	
テーマ	カワゲラウォッチング 砂防について 河川水難事故防止について		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関	下呂市役所 環境部 環境課 飛騨振興局 環境課	
学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ 馬瀬・飛騨川に実際に入って、水生生物の採取を行うことで、川での歩き方を身につけるとともに、どんな場所に生物が生息しているかを学ぶことができた。			学習内容②：馬瀬・飛騨川の生態を学ぶ 採取した水生生物を種類ごとに分け、様々な生物の名称を知るとともに、身近な山之口川に、どんな生物がどれくらい生息しているのかを体験することができた。		
					
学習内容③：砂防について 砂防についてのパネルを使用し、土砂災害の特徴・危険性・避難方法について説明を実施した。			学習内容④：河の危険性について まとまった雨が降ると川は恐ろしい場所になるということと説明し、川遊びをする際の日頃の注意点を説明した。		
					
【学習結果と考察】 ・ 馬瀬・飛騨川のカワゲラウォッチングではカゲロウ類などのきれいな水に生息する生物の他、ドロムシやヒルなどの少し汚れている水に生息する生物も確認され、生活排水等により環境が悪くなるということを実感していた。			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 ・ 子供たちに身近な川に生息している生物について興味を持ってもらえた。 ・ 川の環境について、捕まえた虫をとおして子供達が興味を持ち、理解してもらえた。 ・ 砂防について、身近なところに土砂災害の危険箇所があることを認識してもらえた。		
備考	6月2日(木) 下呂市役所 環境部環境課と打合せ				
記入者	所属：河川砂防担当	氏名：宇田 将隆	電話番号(内線)	323	

支援学校名	下呂市立東第一小学校	担当教員名	坪井先生	対象学年・人数	4年生 11名
実施日	7月11日(月)		実施場所	馬瀬川(廣瀬橋上流)	
テーマ	カワゲラウォッチング 砂防について 河川水難事故防止について		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関	下呂市役所 環境部 環境課 飛騨振興局 環境課	
学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ 馬瀬川に実際に入って、水生生物の採取を行うことで、川での歩き方を身につけるとともに、どんな場所に生物が生息しているかを学ぶことができた。			学習内容②：馬瀬川の生態を学ぶ 採取した水生生物を種類ごとに分け、様々な生物の名称を知るとともに、身近な山之口川に、どんな生物がどれくらい生息しているのかを体験することができた。		
					
学習内容③：砂防について 砂防についてのパネルを使用し、土砂災害の特徴・危険性・避難方法について説明を実施した。			学習内容④：川の危険性について まとまった雨が降ると川は恐ろしい場所になるということと説明し、川遊びをする際の日頃の注意点を説明した。		
					
【学習結果と考察】 ・馬瀬川のカワゲラウォッチングではカゲロウ類などのきれいな水に生息する生物の他、ドロムシやヒルなどの少し汚れている水に生息する生物も確認され、生活排水等により環境が悪くなるということを実感していた。			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 ・子供たちに身近な川に生息している生物について興味を持ってもらえた。 ・川の環境について、捕まえた虫をとおして子供達が興味を持ち、理解してもらえた。 ・砂防について、身近なところに土砂災害の危険箇所があることを認識してもらえた。		
備考	6月2日(木)下呂市役所 環境部環境課と打合せ				
記入者	所属：河川砂防担当	氏名：宇田 将隆	電話番号(内線)	323	

支援学校名	下呂市立竹原小学校	担当教員名	永田先生	対象学年・人数	5年生 30名
実施日	7月14日(木)		実施場所	竹原川(新田橋上流)	
テーマ	カワゲラウォッチング 砂防について 河川水難事故防止について		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関	下呂市役所 環境部 環境課 飛騨振興局 環境課	
学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ			学習内容②：竹原川の生態を学ぶ		
竹原川に実際に入って、水生生物の採取を行うことで、川での歩き方を身につけるとともに、どんな場所に生物が生息しているかを学ぶことができた。			採取した水生生物を種類ごとに分け、様々な生物の名称を知るとともに、身近な山之口川に、どんな生物がどれくらい生息しているのかを体験することができた。		
					
学習内容③：砂防について			学習内容④：河の危険性について		
砂防についてのパネルを使用し、土砂災害の特徴・危険性・避難方法について説明を実施した。			まとまった雨が降ると川は恐ろしい場所になるということと説明し、川遊びをする際の日頃の注意点を説明した。		
					
【学習結果と考察】			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】		
<ul style="list-style-type: none"> <li>竹原川のカワゲラウォッチングではカワゲラ、カゲロウ類など、きれいな水に生息する生物が確認され、水質の良さを実感していた。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>子供たちに身近な川に生息している生物について興味を持ってもらえた。</li> <li>川の環境について、捕まえた虫をとおして子供達が興味を持ち、理解してもらえた。</li> <li>砂防について、身近なところに土砂災害の危険箇所があることを認識してもらえた。</li> </ul>		
備考	6月2日(木) 下呂市役所 環境部環境課と打合せ				
記入者	所属：河川砂防担当	氏名：宇田 将隆	電話番号(内線)	323	

支援学校名	下呂市立尾崎小学校	担当教員名	細江先生	対象学年・人数	4年生 17名
実施日	6月30日(木)		実施場所	山之口川(中霧橋下流)	
テーマ	カワゲラウォッチング 砂防について 河川水難事故防止について		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関	下呂市役所 環境部 環境課 飛騨振興局 環境課	
学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ			学習内容②：山之口川の生態を学ぶ		
山之口川に実際に入って、水生生物の採取を行うことで、川での歩き方を身につけるとともに、どんな場所に生物が生息しているかを学ぶことができた。			採取した水生生物を種類ごとに分け、様々な生物の名称を知るとともに、身近な山之口川に、どんな生物がどれくらい生息しているのかを体験することができた。		
					
学習内容③：砂防について			学習内容④：河の危険性について		
砂防についてのパネルを使用し、土砂災害の特徴・危険性・避難方法について説明を実施した。			まとまった雨が降ると川は恐ろしい場所になるということと説明し、川遊びをする際の日頃の注意点を説明した。		
					
【学習結果と考察】			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】		
<ul style="list-style-type: none"> <li>山之口川のカワゲラウォッチングではカワゲラ、カゲロウ類など、きれいな水に生息する生物が確認され、水質の良さを実感していた。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>子供たちに身近な川に生息している生物について興味を持ってもらえた。</li> <li>川の環境について、捕まえた虫をとおして子供達が興味を持ち、理解してもらえた。</li> <li>砂防について、身近なところに土砂災害の危険箇所があることを認識してもらえた。</li> </ul>		
備考	6月2日(木) 下呂市役所 環境部環境課と打合せ				
記入者	所属：河川砂防担当	氏名：宇田 将隆	電話番号(内線)	323	

支援学校名	高山市立清見小学校	担当教員名	西村先生	対象学年・人数	3年生 22名
実施日	7月14日(木)		実施場所	川上川(中之島公園付近)	
テーマ	カワゲラウォッチング及び河川の危険性や砂防について		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関	飛騨振興局(環境保全担当) 高山市役所(生活環境課)	
学習内容①: 河川との接し方について 川上川に入って、実際に水生生物を採取することで、河川との接し方について学習。			学習内容②: 水生生物の種類などについて 採取した水生生物を調べることで、どのような生物が河道内にいるか知ることができました。		
					
学習内容③: 豪雨時の避難について 大雨が降った際の対処方法や、普段からの心構えについて説明を行い、子供たちに避難することの大切さを学習してもらいました。					
					
【学習結果と考察】			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】		
<ul style="list-style-type: none"> <li>中之島公園付近の川上川は、トビケラなどが確認されたため、水生生物の生息状況より比較的きれいな水に分類される。</li> <li>近隣の場所で実際に災害が起こった場所を説明することで、災害の危険性について学習された。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>夏季に屋外で説明したため、短時間で分かりやすく説明できるように行いました。</li> <li>河道内に入り、水生生物の採取を行うことに興味をもって参加しており、関心を持っていました。</li> <li>説明する学年が低学年になったため、簡潔に分かりやすく、学年に応じた説明ができたと思う。</li> </ul>		
備 考					
記入者	所属: 河川砂防担当	氏名: 林 靖弘	電話番号(内線)	382	

支援学校名	高山市立南小学校	担当教員名	和田先生	対象学年・人数	4年生 66名
実施日	7月1日(金)		実施場所	苔川(岡本橋付近)	
テーマ	カワゲラウォッチング及び河川の危険性や砂防について		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関	飛騨振興局(環境保全担当) 高山市役所(生活環境課)	
学習内容①: 川とのふれあうについて 苔川の河道内に入り、水生生物を採取することで川とのふれあい方法について学ぶことができた。			学習内容②: 川の清濁について学習 採取した水生生物の種類を調査することで、苔川の水質について調べることができました。		
					
学習内容③: 土砂災害のメカニズムについて 大雨が降った際に、土石流がどのようにして発生するかについて勉強し、避難することの重要性についても説明しました。					
					
【学習結果と考察】			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】		
<ul style="list-style-type: none"> <li>岡本橋付近の苔川は、カワゲラやカワニナなどが確認されたため、水生生物の生息状況より、比較的きれいな水に分類される。</li> <li>洪水災害や土砂災害についての危険性について理解してもらい、避難することの大切さについて勉強しました。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>紙芝居形式で説明することで子供たちの興味を持ってもらうことができた。</li> <li>水生生物を捕まえることに子供たちは積極的に参加しており、河川について興味をもっていた。</li> <li>採取した水生生物について、名称のわからない生物がいくつかあったため、あらかじめ予習していく必要がある。</li> </ul>		
備 考					
記入者	所属: 河川砂防担当	氏名: 林 靖弘	電話番号(内線)	382	

支援学校名	高山市立宮小学校	担当教員名	田原先生	対象学年・人数	5年生 26名
実施日	6月7日(火)		実施場所	宮川(宮小学校付近)	
テーマ	カワゲラウォッチング及び河川の危険性や砂防について		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関	飛騨振興局(環境保全担当) 高山市役所(生活環境課)	
学習内容①: 川の自然環境について学習 宮川内の水生生物を採取することで、川の状況について知るとともに、自然環境の接し方について学習。			学習内容②: 川の清濁について学習 採取した水生生物がどのような水質で生息できるかについて調べることで、河川の水質について確認しました。		
					
学習内容③: 豪雨時の河川について 大雨が降った際に、河川がどのような状況になるかについて、その際に豪雨時の避難についての注意点についても勉強しました。					
					
【学習結果と考察】			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】		
<ul style="list-style-type: none"> <li>宮小学校付近の宮川は、カワゲラ・ヘビトンボなどが多数確認され、水生生物の生息状況より、とてもきれいな水に分類される。</li> <li>豪雨時の河川状況をパネルにて説明することで、災害がどのようにして発生するか学習された。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>説明する際にイラストや写真を用いることで災害がどのようなものか感じてもらい、災害がおきた時の心構えなどについて質問をうけた。</li> <li>水生生物を捕まえることに子供たちは積極的に参加しており、河川について興味をもっていた。</li> <li>普段聞きなれない単語を用いたので、もっと分かり易い言葉で説明を行っていきたい。</li> </ul>		
備考	6月8日(水)毎日新聞(高山地域版)に総合学習の記事が掲載される。【巻末資料70頁掲載】				
記入者	所属: 河川砂防担当	氏名: 林 靖弘	電話番号(内線)	382	

支援学校名	飛騨市立古川西小学校	担当教員名	野村先生 山川先生	対象学年・人数	4年生 57名
実施日	6月28日(火)、7月5日(火) 7月14日(木)、8月30日(火)		実施場所	宮川(古川西小学校裏)	
テーマ	「身近な河川環境」 現地調査等を通して宮川の環境への理解を深める。		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関		
学習内容①：宮川の環境を知る(化学的指標)			学習内容②：宮川の環境を知る(生物的指標)		
宮川水質の化学的な指標として水温、水におい・濁り等を観察した。またパックテストを用いてCODの測定を行い、宮川の水質を化学的に評価した。			カワゲラウォッチングを行い宮川に住む生物を採取した。採取した生物を指標生物として宮川の水質を生物的に評価した。		
					
学習内容③：宮川の周辺環境を知る			学習内容④：結果のとりまとめ		
宮川河川敷に生息するヒメシロチョウ(環境省レッドリスト記載種)の観察を行い、貴重な河川周辺環境について学ぶことを目的とした。			これまで行ってきた学習内容をもとに結果のとりまとめを行い、宮川の水質について評価を行った。		
					
<b>【学習結果と考察】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>宮川で水質の調査を行った結果、濁り等は観察されなかった。CODは3.5mg/Lであった。</li> <li>カワゲラウォッチングの結果、きれいな水に生息するといわれるナガレトビケラ、カワゲラ等が採取された。</li> <li>ヒメシロチョウも複数匹観察された。</li> </ul> <p>以上の結果より宮川古川西小学校裏の地点の水質は良好であり、周辺環境も含め多様な自然環境が残る地域であると考えられる。</p>			<b>【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近に豊かな環境があるということを見童に認識してもらうことができた。</li> <li>学習内容の事前授業、現地調査後の結果取りまとめを行ったことで学習内容に関する見童の理解を深めることができたと思う。</li> <li>授業は環境に関する内容をメインに取り扱ったが、環境一辺倒でなく自然との共生が大切だということをうまく伝えることが今後の課題であると感じた。</li> </ul>		
備考	6月28日：小学校で事前授業、 7月14日：調査結果取りまとめ		7月5日：宮川現地調査 8月31日：ヒメシロチョウ観察会		
記入者	所属：河川砂防担当	氏名：葛口 利貴	電話番号(内線)	263	







支援学校名	関市立旭ヶ丘小学校	( 1 / 1 )	関連ページ	26ページ
-------	-----------	-----------	-------	-------

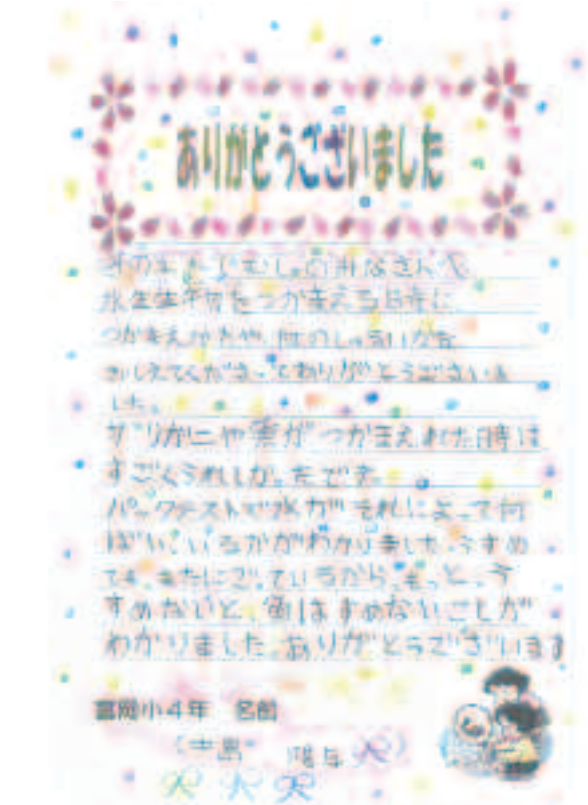
【総合的な学習の時間を終えた児童らの感想（主なものを抜粋）】



記入者	所属：河川砂防担当	氏名：高橋 君治	電話番号（内線）	322
-----	-----------	----------	----------	-----

支援学校名	関市立富岡小学校	( 1 / 1 )	関連ページ	28ページ
-------	----------	-----------	-------	-------

【総合的な学習の時間を終えた児童らの感想（主なものを抜粋）】




【新聞記事】



平成23年9月29日（木） 中日新聞 中濃版

記入者	所属：河川砂防担当	氏名：高橋 君治	電話番号（内線）	322
-----	-----------	----------	----------	-----

支援学校名	関市立瀬尻小学校	( 1 / 1 )	関連ページ	30ページ
【総合的な学習の時間を終えた児童らの感想（主なものを抜粋）】				
 				
記入者	所属：河川砂防担当	氏名：高橋 君治	電話番号（内線）	322

支援学校名	美濃市立牧谷小学校	( 1 / 1 )	関連ページ	31ページ
【新聞記事】				
 <p>カワゲラいたよ!! 美濃・牧谷小児童 板取川で水質調査</p> <p>美濃市の牧谷小学校 五年生が八日、同市麻 生の板取川で水生生物 を調査し、川の穴窟調 査に挑戦した。</p> <p>美濃土木事務所職員 にすむ水生昆虫が多く 捕れ、板取 川の水がさ れいなこと がわかつ た。</p> <p>児童は膝 上まで水に 漬かって水 中の石を拾 い、石の裏 に付いたカ ワゲラを採 寸など、熱 心に取り組 んでいた。 (松崎英子)</p>				
平成23年6月9日（木）中日新聞 中濃版				
記入者	所属：河川砂防担当	氏名：高橋 君治	電話番号（内線）	322



支援学校名	郡上市立北濃小学校	( 1 / 1 )	関連ページ	37ページ
-------	-----------	-----------	-------	-------

【新聞記事】



**鳥 災害の怖さなど学ぶ**  
 白 北濃小 6年生 長良川の復旧現場訪れる

郡上市白鳥町の北濃 旧工事の必要性などを  
 小学校六年生十四人は 学んだ。  
 十六日、郡土を調べる 今年五月の豪雨で、  
 総合学習の一環で、近 川の流れを緩和するこ  
 くの長良川で進む災害 ンクリート製の「水  
 復旧工事現場を訪れ、 制」の基礎部の土砂が  
 郡部土木事務所の職 削られて空洞化。異は  
 員から災害の怖さや復 高さ、幅とも二・五

河床を安定させる復旧  
 工事を進めている。  
 児童らは、河川沿く  
 の広場に並ぶ根固めブ  
 ロックを見学。職員か  
 らは、学校近くの国道  
 一五〇号が長良川の濁  
 流で崩壊した一九九九  
 年の被害など、災害の  
 怖さやブロックの役割  
 の説明を受けた。

この後、工事現場に  
 移動して下部が削られ  
 た水割を見学。一帯は  
 長良川県立自然公園  
 特別区域のため、環境  
 保全に配慮して根固め  
 ブロックによる工法を  
 採用したことなどを重  
 いた。

製造されたブロック  
 は、十二月五十七日に  
 河川へ運ぶという。  
 （島崎賢一）

平成23年11月17日（木） 中日新聞 県内版（朝刊）



郡上土木  
**北濃小児童ら招き  
 災害復旧現場見学会**

岐阜県郡上土木事務  
 所は16日、北濃小学校  
 の児童らを長良川の災  
 害復旧の工事現場に招  
 き、見学会を開いた。 写真

児童らは、改修に使う  
 根固めブロックの形状や  
 大きさ、金額などについ  
 て質問。同事務所の職員、  
 「災害の危険性と復旧  
 の必要性について」を  
 はじめ社員らがパネルな  
 テーマに発表。6年生  
 どを思い説明していた。

14人が、ことし被害を受  
 けて現在、北濃建設（郡  
 上市）が施工する復旧工  
 事の現場を見学。工事の  
 内容や役割について説明

平成23年11月25日（金） 建通新聞

記入者	所属：砂防担当	氏名：荒引 圭俊	電話番号（内線）	341
-----	---------	----------	----------	-----





支援学校名	七宗町立神淵小学校	( 1 / 1 )	関連ページ	39ページ
-------	-----------	-----------	-------	-------

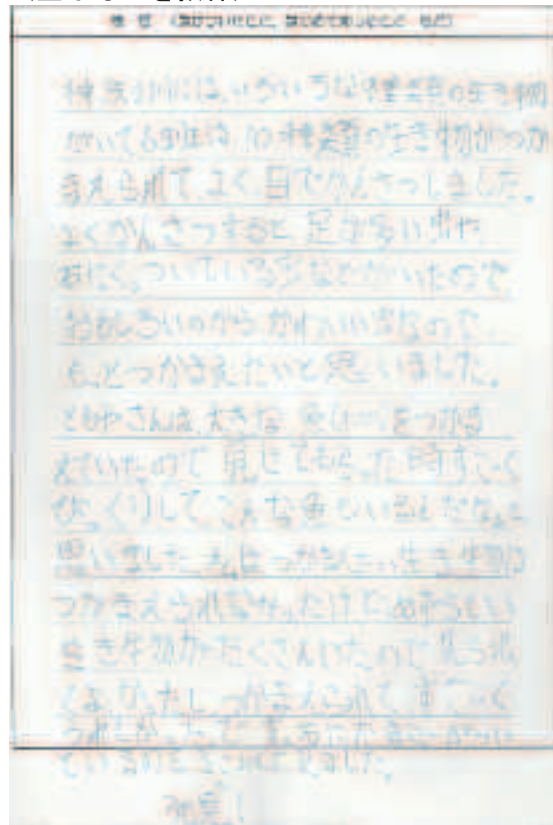
【新聞記事】



平成23年7月2日（土） 岐阜新聞 中濃版

【総合的な学習の時間を終えた児童らの感想】

（主なものを抜粋）



記入者	所属：河川砂防担当	氏名：加藤 一郎	電話番号（内線）	324
-----	-----------	----------	----------	-----

支援学校名	瑞浪市立瑞浪小学校	( 1 / 1 )	関連ページ	40ページ
-------	-----------	-----------	-------	-------

【新聞記事】



平成23年7月7日（水） 中日新聞 東濃地域版

記入者	所属：河川砂防担当	氏名：伊藤 昌志	電話番号（内線）	320
-----	-----------	----------	----------	-----

支援学校名	高山市立宮小学校	( 1 / 1 )	関連ページ	59ページ
-------	----------	-----------	-------	-------

【新聞記事】

**カワゲラ調査で宮川の水質確認**  
高山・宮小5年生

川に住む生物を調べ、水質を確認する「カワゲラ調査」が、宮小5年生のグループで行われた。川の水質を調べ、カワゲラなどの鳥の生息状況を確認する。調査の結果は「きれいなお川」だった。

総合的な学習として5年生が学んでいる「環境から河口まで」の一環。水生生物を調べて水質を知り、河川環境美化の重要性を理解してもらうため毎年行っている。

サンダル履きの児童らは水深10、20センチの川に入り、タモを手に石を投げ上げて水生生物を捕まえた。トウモロコシやヘビトンボの幼虫などきれいな水に住む水生生物のほか、カサカサと音をたてるカサカサも捕まえた。田舎の川は「いつも遊んでいる川」に比べて、水生生物がいてびっくりした」と話していた。

22日は、交流している宮川の下流、神通川河口近くにある宮小分校（兼山市）に出かけ、この日の結果を

これまでも捕へた種類の鳥の様子などを発表する。【富田正光】

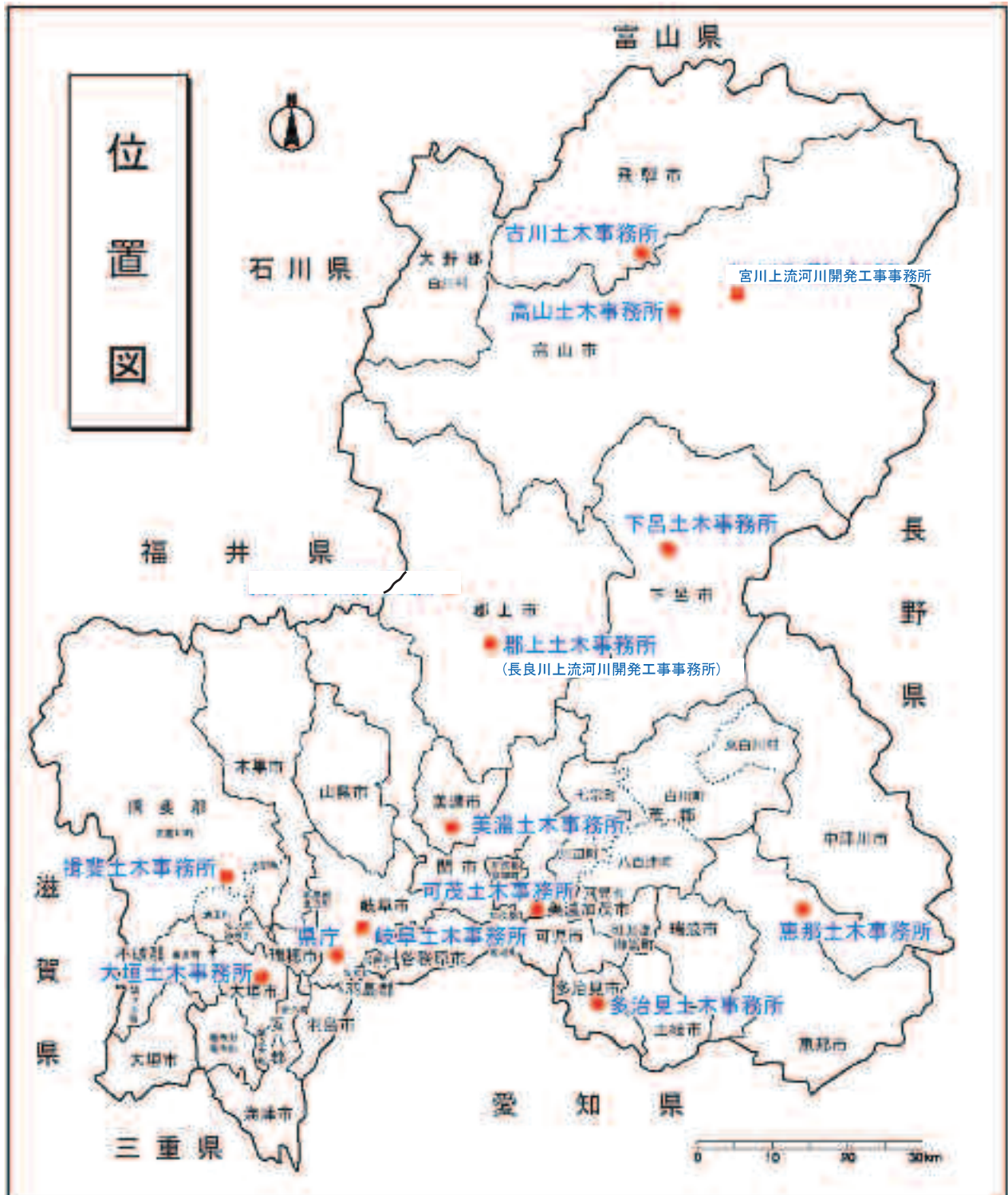
平成23年6月8日（水） 毎日新聞 高山地域版（朝刊）

記入者	所属：河川砂防担当	氏名：林 靖弘	電話番号（内線）	382
-----	-----------	---------	----------	-----

# 支援窓口一覧表

## 岐阜県管内図

平成24年3月31日現在



平成24年3月31日現在

所属	課、担当	TEL FAX	所管市町村名	所在地
渠土整備部	河川課	058-272-1111	渠下全域	〒500-8570 岐阜市藤田南2-1-1 岐阜県庁内
		058-278-2753		
渠土整備部	砂防課	058-272-1111	渠下全域	〒500-8570 岐阜市藤田南2-1-1 岐阜県庁内
		058-278-2753		
岐阜土木事務所	河川砂防課 河川第一担当	058-264-1111	岐阜市(北部)、山県市、瑞穂市、本巣市、北方町	〒500-8708 岐阜市岡町1 岐阜総合庁舎内
	河川砂防課 河川第二担当		岐阜市(南部)、羽島市、各務原市、城南町、笠松町	
大垣土木事務所	河川砂防課 河川担当	0584-73-1111	大垣市、番井町、聖分町、井戸町、安八町、輪之内町、海津市、養老町	〒503-0838 大垣市江崎街422-3 西濃総合庁舎内
	河川砂防課 砂防担当	0584-82-4960		
岐阜土木事務所	河川砂防課	0585-23-1111	揖斐川町、大野町、池田町	〒501-0803 揖斐郡揖斐川町上南方1-1 揖斐総合庁舎内
	河川砂防担当	0585-23-1105		
美濃土木事務所	河川砂防課	0575-33-4011	関市、美濃市	〒501-3756美濃市三橋 1812-2 中濃総合庁舎内
	河川砂防担当	0575-33-4901		
郡上土木事務所	河川砂防課	0575-67-1111	郡上市	〒501-4292 郡上市八幡町松音1727-2 郡上総合庁舎内
	河川砂防担当	0575-65-4968		
可茂土木事務所	河川砂防課	0574-25-3111	美濃加茂市、可児市、坂祝町、富加町、川辺町、七条町、八百津町、白川町、東白川村、御嵩町	〒505-8508 美濃加茂市古井町下吉井大 阪2610-1 可茂総合庁舎内
	河川砂防担当	0574-25-0355		
多治見土木事務所	河川砂防課	0572-25-1111	多治見市、土岐市、瑞浪市	〒507-8708 多治見市上野町5-68-1 東濃西部総合庁舎内
	河川砂防担当	0572-25-7224		
濃那土木事務所	河川砂防課	0573-26-1111	中津川市、濃那市	〒509-7203 濃那市長島町正家後田 1367-71 濃那総合庁舎内
	河川砂防担当	0572-26-0417		
下呂土木事務所	河川砂防課	0578-52-3111	下呂市	〒509-2592 下呂市萩原町羽根2605-1 下呂総合庁舎内
	河川砂防担当	0578-52-1948		
高山土木事務所	河川砂防課	0577-33-1111	高山市(旧園府町、土室村を除く)、白川村	〒506-8688 高山市上岡本町7-468 飛騨総合庁舎内
	河川砂防担当	0577-33-1088		
吉川土木事務所	河川砂防課	0577-73-2911	瑞穂市、高山市(旧園府町、土室村)	〒509-4263 飛騨市吉川町上野617-1
	河川砂防担当	0577-73-3346		

平成23年度版 川を題材とした  
総合的な学習の時間活動事例集

平成24年3月発行

編集・発行 岐阜県県土整備部河川課・砂防課

〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1

TEL 058-272-1111 (代表)

FAX 058-278-2753 (河川課)

URL <http://www.pref.gifu.lg.jp/kendo/michi-kawa-sabo/kasen/>

MAIL [c11652@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11652@pref.gifu.lg.jp) (河川課)

協 賛 岐 阜 県 河 川 協 会  
岐 阜 県 砂 防 協 会